HSBCオルタナティブ・バランス・ファンド

愛称：マルチアシスト

償還運用報告書（全体版）

第４期　（償還日　2024年３月28日）

◎当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	2020年３月24日～2024年３月28日（当初2030年４月10日）
運用方針	世界（日本を含む）の株式、債券、通貨の指数先物等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要運用対象	主として、ルクセンブルク籍証券投資法人「ＨＳＢＣグローバル・インベストメント・ファンドーマルチアセット・スタイルファクターズ」（「ＨＳＢＣ ＧＩＦ マルチアセット」）に投資します。また、「ＨＳＢＣグローバル・インベストメント・ファンドーユーロ・ボンド」にも投資します。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	年１回の決算時（毎年４月10日、休業日の場合は翌営業日）に、以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◎受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＨＳＢＣオルタナティブ・バランス・ファンド」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

ここに運用経過と償還内容をご報告いたしますとともに、これまでのご愛顧に対し厚くお礼申し上げます。

ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1　ＨＳＢＣビルディング
≪お問い合わせ先（投信営業本部）≫
電話番号：03-3548-5690
（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

HSBC Asset Management

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
(設定日)	円 銭	円	%	%	百万円
2020年３月24日	10,000	－	－	－	1
１期(2021年４月12日)	9,795	0	△2.1	95.7	180
２期(2022年４月11日)	9,640	0	△1.6	97.2	195
３期(2023年４月10日)	9,431	0	△2.2	98.6	154
(償還時)	(償還価額)				
４期(2024年３月28日)	9,461.27	－	0.3	－	26

(注) 基準価額の期中騰落率は分配金込み。
(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
(注) 設定日の基準価額は１万口当たりの当初設定元本、設定日の純資産総額は当初設定元本です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券組入比率
		騰落率	
(期 首)	円 銭	%	%
2023年４月10日	9,431	－	98.6
４月末	9,486	0.6	98.6
５月末	9,390	△0.4	98.8
６月末	9,416	△0.2	97.8
７月末	9,430	△0.0	97.9
８月末	9,382	△0.5	97.7
９月末	9,372	△0.6	97.8
10月末	9,417	△0.1	97.9
11月末	9,470	0.4	97.1
12月末	9,463	0.3	97.2
2024年１月末	9,383	△0.5	96.8
２月末	9,512	0.9	96.9
(償還時)	(償還価額)		
2024年３月28日	9,461.27	0.3	－

(注) 期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比です。

○投資環境と運用状況

設定以来の基準価額等の推移について（設定日2020年３月24日～償還日2024年３月28日）

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するか否かについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

ファクター別ではキャリーがプラスとなりました。

資産クラス別は以下の通りです。

◆株式（国別）

主としてイタリア、カナダ、米国の買建て（ロング）のポジション、タイ、韓国、マレーシアの売建て（ショート）のポジションが基準価額にプラスに寄与しました。

◆株式（セクター別）

主として米国のエネルギーセクター、欧州の基礎資源および金融サービスセクターの買建てのポジション、米国の公益事業およびコミュニケーション・サービスセクター、欧州の食品・飲料セクターの売建てのポジションが基準価額にプラスに働きました。

◆債券

主としてスイス、ノルウェーの買建てのポジション、米国の売建てのポジションが基準価額にプラスに寄与しました。

◆通貨

主として英ポンド、コロンビアペソ、ブラジルレアルの買建てのポジション、韓国ウォン、インドネシアルピア、日本円の売建てのポジションが基準価額にプラスに働きました。

＜下落要因＞
ファクター別ではモメンタムとバリューがマイナスとなりました。

資産クラス別は以下の通りです。
◆株式（国別）
主として英国、中国、ブラジルの買建てのポジション、インド、日本の売建てのポジションが基準価額にマイナスに寄与しました。

◆株式（セクター別）
主として米国の生活必需品セクター、欧州の通信サービスおよびヘルスケアセクターの買建てのポジション、欧州のテクノロジーセクターの売建てのポジションが基準価額にマイナスに働きました。

◆債券
主としてオーストラリア、カナダ、ニュージーランドの買建てのポジション、ドイツの売建てのポジションが基準価額にマイナスに寄与しました。

◆通貨
主としてチリペソ、ロシアルーブルの買建てのポジション、スイスフラン、カナダドルの売建てのポジションが基準価額にマイナスに働きました。

投資環境について
世界の株式市場については、先進国市場（MSCIワールド・インデックス、現地通貨ベース）が信託期間を通じて134.1%上昇しました。設定日以降、2022年１月上旬にかけては主要先進国による新型コロナウイルス感染拡大懸念に対する財政・金融双方からの景気刺激策の実施などから上昇基調となったものの、ロシア・ウクライナ紛争、米欧にて根強いインフレによる積極的な金融引き締め政策に伴い2022年10月中旬にかけては途中上下動を見せながらも下落傾向に転じました。償還日にかけては主要先進国におけるインフレの落ち着き、米国の利下げ観測を背景に上昇基調に転じました。新興国市場（MSCIエマージング・マーケット・インデックス、現地通貨ベース）は信託期間を通じて59.3%上昇しました。設定日以降、2021年２月中旬にかけては主要新興国における新型コロナウイルス感染拡大懸念に対する財政・金融双方からの景気刺激策の実施により上昇基調となったのち、ロシア・ウクライナ紛争、中国の景気減速懸念、米欧の積極的な金融引き締め政策を背景に2022年10月下旬にかけては途中上下に振れながらも下落基調に転じました。償還日にかけては一部新興国における金融緩和、中国の景気支援策、米国の利下げ観測から途中上下動を見せながらも上昇基調となりました。
世界の国債市場については、先進国市場（FTSE世界国債インデックス、現地通貨ベース）は信託期間を通じて13.9%下落しました。設定日以降、2021年１月初旬にかけては主要先進国の金融緩和に伴い値を上げる動きとなったものの、ロシア・ウクライナ紛争、米欧における積極的な金融引き締め政策を背景に2022年10月中旬にかけては下落基調に転じました。償還日にかけては一定範囲内で推移しました。新興国市場（JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド、現地通貨ベース）は信託期間を通じて14.4%上昇しました。設定日以降、2021年１月初旬にかけては主要新興国の積極的な金融緩和から上昇基調となったのち、2022年２月中旬にかけては一進一退の動きとなりました。その後、ロシアによるウクライナ侵攻などに伴い同年５月上旬にかけては下落傾向に転じたものの、新興国におけるインフレ鈍化、一部新興国における金融緩和、米国の利下げ観測により償還日にかけては途中上下に振れながらも上昇基調となりました。

（注）原則として、指数の騰落率は設定日・償還日の前営業日の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

世界の株式、債券、通貨の指数先物等に実質的に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指しました。バリュー、モメンタム、キャリーの３つの市場収益特性に注目し、資産の買建ておよび売建てを行う複数のロング・ショート戦略を用いて運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○１万口当たりの費用明細

（2023年４月11日～2024年３月28日）

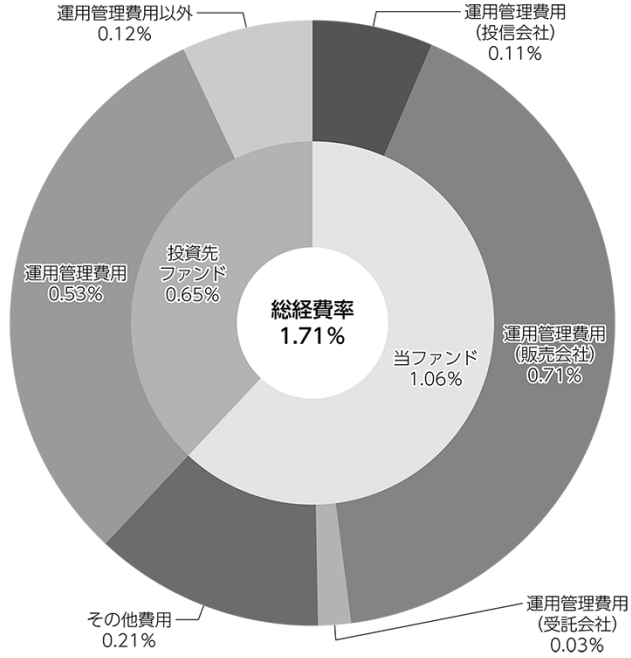
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	78	0.828	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(10)	(0.106)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(65)	(0.690)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.032)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	19	0.205	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(5)	(0.055)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(14)	(0.150)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合計	97	1.033	
期中の平均基準価額は、9,429円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。
（注）委託者は2023年４月１日から2024年３月28日までの期間に、管理会社より1,248.40米ドルのマネジメントフィーを受領いたしました。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**1.71**
①当ファンドの費用の比率	1.06
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.53
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）ファンド名に「ＨＳＢＣ」を含まない投資先ファンドの費用については、②に計上しています。ファンド名に「ＨＳＢＣ」を含む投資先ファンドの費用は②、③に区分して計上していますが、②、③の区分なく費用が公表されている場合は②に計上しています。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年４月11日～2024年３月28日）

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		口	千円	口	千円
国内	HSBCグローバル・インベストメント・ファンドーユーロ・ボンド	－	－	103	849
国内	ＨＳＢＣ ＧＩＦ マルチアセット	－	－	15,365	151,759
合計		－	－	15,468	152,609

（注）金額は受渡し代金。
（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2023年４月11日～2024年３月28日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2024年３月28日現在）

2024年３月28日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)
	口数
	口
ＨＳＢＣグローバル・インベストメント・ファンドーユーロ・ボンド	103
ＨＳＢＣ ＧＩＦ マルチアセット	15,365
合計	15,468

（注）単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2024年３月28日現在）

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	26,380	100.0
投資信託財産総額	26,380	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 （2024年３月28日現在）

項目	償還時
	円
(A) 資産	26,380,980
コール・ローン等	26,380,977
未収利息	3
(B) 負債	148,452
未払信託報酬	120,430
その他未払費用	28,022
(C) 純資産総額（Ａ－Ｂ）	26,232,528
元本	27,726,212
償還差損金	△ 1,493,684
(D) 受益権総口数	27,726,212口
１万口当たり償還価額（Ｃ／Ｄ）	9,461円27銭

（注）当ファンドの期首元本額は163,873,697円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は136,147,485円です。

（注）また、１口当たり純資産額は0.946127円です。

○損益の状況 （2023年４月11日～2024年３月28日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,488
受取利息	12
支払利息	△ 1,500
(B) 有価証券売買損益	760,216
売買益	936,929
売買損	△ 176,713
(C) 信託報酬等	△ 674,297
(D) 当期損益金（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	84,431
(E) 前期繰越損益金	△1,256,816
(F) 追加信託差損益金	△ 321,299
（配当等相当額）	（△ 1,653）
（売買損益相当額）	（△ 319,646）
償還差損金（Ｄ＋Ｅ＋Ｆ）	△1,493,684

（注）(B)**有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）(C)**信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）(F)**追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年３月24日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年３月28日		資産総額	26,380,980円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	148,452円
				純資産総額	26,232,528円
受益権口数	1,000,000口	27,726,212口	26,726,212口	受益権口数	27,726,212口
元本額	1,000,000円	27,726,212円	26,726,212円	１万口当たり償還金	9,461円27銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	１万口当たり分配金	
				金額	分配率
第１期	184,045,512円	180,280,460円	9,795円	0円	0%
第２期	203,132,996	195,830,114	9,640	0	0
第３期	163,873,697	154,546,065	9,431	0	0

○償還金のお知らせ

１万口当たり償還金（税込み）	9,461円27銭

（個人の受益者に対する課税）

※償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分に20.315％（所得税15.315％、地方税５％）の源泉分離課税がかかります。
税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
税金の取扱いの詳細等については、税務の専門家等にご確認されることをお勧めします。

○お知らせ

当ファンドは、受益権口数が投資信託約款の繰上償還条項に定める口数を下回っており、運用を継続するよりも繰上償還することが受益者の皆さまの利益に資すると判断し、投資信託約款の規定に基づき、2024年３月28日をもって信託を終了いたしました。

受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。